

トラブル
を防ぐ

親子で考えよう! 家庭でのネット利用のルールづくり

<ルール例>

- 1 スマホや携帯ゲーム機などからネットを使うのは
_____ 時～ _____ 時までにはします
- 2 スマホやゲームで遊ぶのは1日 _____ 時間までにはします
- 3 食事をするときは _____ はしません
- 4 ネット上のだれも見ることができる場所に
_____ などを書いたり、会ったことのない人に教えたりしません
- 5 スマホや携帯ゲーム機などを使用・充電する場所は
_____ に限ります
- 6 アプリをダウンロードする時や、アイテムを買うときは
_____ に必ず相談します
- 7 スマホやゲーム機は _____ ながら使用しない

困ったときは、まず電話。ひとりで悩まず相談を。

<公的機関連絡先>

江別市教育委員会 教育支援課

☎ 011-381-1409

北海道警察相談電話

☎ #9110

スマホやネットに潜む 危険・トラブル

ひそ
～中学生のためのガイドブック～



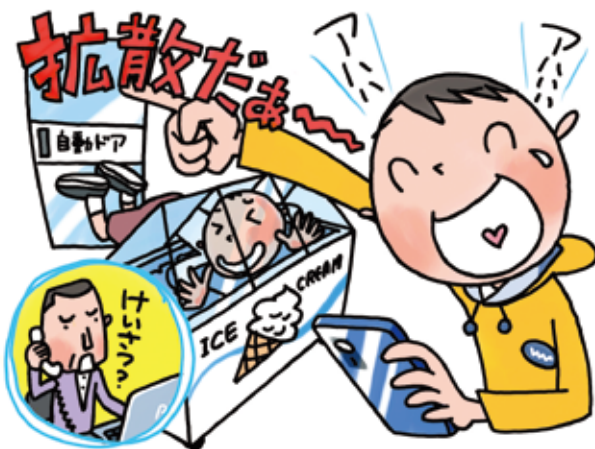
どうして
ルールが必要なの

スマホやタブレット等は、ネットから簡単に情報を発信できたり、世界中の情報を見ることができる便利なツールです。でも、使い方を間違えると人の心を傷つける凶器にもなって、自分が「加害者」にも「被害者」にもなってしまいます。だからルールをしっかり守って使いましょう。

スマホ ネット 事件簿!

あなたの不注意が重大なトラブルに
便利で楽しいスマホやネットも、
使い方を間違えると大変なことに…

CASE 1 「軽い気持ち」での投稿が大変なことに



Aくんは、友達とスーパーに行きました。Aくんは悪ふざけのつもりで、店内のアイスクリーム用の冷凍庫に頭をつっこみ、その様子を友達が撮影しました。その時の写真をSNSに載せたところ、後日、その写真が問題になり炎上。Aくんの名前や学校も公開され、警察が動く大問題になってしまいました。スーパーは被害届を提出し、Aくんは店側から、多額の損害賠償を求められることとなりました。

① ネットの情報は完全には消せない! 投稿前によく考えて

ネットに一度公開した画像は、コピーが繰り返されて拡散し、その画像に一生悩まされる可能性があります。また、このようなことがきっかけで、店が閉店するなどの実被害につながることもあるので、不適切な行為を行ったり、ネットに公開しては絶対にいけません。

CASE 2 わたしが被害者になるなんて…



Bさんは、SNSを通じて知り合った男性と親しくなりました。男性から顔写真を送るように言われ、優しくて良い人なので大丈夫だと思って送りました。その後、写真の要求がエスカレートし、怖くなったBさんが写真を送ることを拒否しました。すると、男性の態度が豹変し、男性に送った写真がネットに公開され、拡散されてしまいました。

① どんな相手でも写真を送ってはいけない

簡単に自分の写真を送ってしまうと、写真には位置情報がついているので、場所を特定されたり、悪用されたりするなど、トラブルや犯罪に巻き込まれることがあります。絶対に写真を送ってはいけません。また、写真だけではなく、名前などの個人情報^{*1}についても、犯罪やいたづらに使われたりトラブルに巻き込まれることがあるので、絶対に公開しないようにしましょう。

*1 個人情報とは個人を特定できる情報のことです。例えば、顔写真、名前や住所、学校名、パスワード、IDなどが個人情報に含まれます。
*2 相手の許可なく個人情報を公開することは法律で禁止されています。

守ろう! スマホ・携帯ゲーム機の ネットルール

- 無責任な投稿はしない
- 友だちを傷つけるようなメッセージは送らない
- ネットで知り合った人には会わない
- 自分の写真や個人情報は載せない教えない
- ながらスマホ禁止! 利用時間を決めて生活リズムを守る

CASE 3 ネットだから言えちゃうっていいの?



Cさんは、コミュニケーションサイトでクラスのみなどとグループを作ってメッセージのやりとりをしていました。ある日、遊ぶ約束のやりとりをしていた際に、DさんがCさんに対して、「どういう手段で来るのか」という意味で「何で来るの?」と送りました。しかし、Cさんは、「なぜ来るのか」と言われたと勘違いをしたため、そこから行き違いが生じてしまいました。Cさんは、Dさんだけを外した新たなグループを作り、そこで「Dを無視しよう!!」と提案しました。その結果、Dさんはクラスメイトから無視をされるようになり、学校に行けなくなってしまいました。

① リアルもスマホも一緒! 自分がされて嫌なことは絶対にしない

ネットいじめは、リアルの世界では見えないけれど、深くその人を傷つけることとなります。文字だけのやりとりでは勘違いや誤解が生まれやすいので、送信をする前に、誰かを傷つける内容ではないか、もう一度確かめましょう。気になることは面と向かってお話しをすることが大切です。

CASE 4 ちょっとだけ参加するつもりが…



Eくんは、ネット上の仲間とチームを組んで戦うオンラインゲームを始めました。最初は、夜寝る前に少しだけゲームに参加していたのですが、戦う敵が強くなるにつれて、徐々にプレイ時間が長くなっていきました。チームプレイなので、一度ゲームが始まると途中で抜けることができず、明け方まで続くことも多くなりました。そのため、生活のリズムが乱れてしまい、ちょっとしたことでイライラするようになりました。

① 利用時間を決めて生活のリズムを乱さない

長時間利用することで、睡眠不足など健康への影響だけでなく、朝起きられなくなったり、心がイライラしたりするなど、深刻な問題につながる可能性があります。親とネットの利用について「夜は〇時まで」とルールを決めて、その約束の中で利用するようにしましょう。

困ったときには、一人で悩まず、まず相談! 親や先生など信頼できる大人に相談し、対処方法について考えましょう。